

教えて! 村長さん 教育環境と村の子育て支援について

現在、村では子供たちが安心して暮らし、学べる環境を整えるため、子育て・教育に力を入れています。今回は子育てをテーマに、現状と今後の展望をお伝えします。(敬称、敬語は省略)

Q 小中学校の給食が無償化になりました。他にも食育の取り組みがあるのでしょうか?

A 令和8年4月から、国主導のもと公立小学校に通う全ての児童を対象に、給食無償化が実施されました。これを受け、本村では、小学校のみならず中学校まで拡充して、給食費を無償化しました。これまでは半額補助でしたが、ようやく無償化が実現し、物価高騰の中でも子供たちが安心して給食を食べられる環境が整いました。

また、食材は積極的に村内の有機農作物を使用しています。これは村環境保全農業推進協議会に加盟している農家が育てたもので、地産地消にも繋がります。他にも昨年度は1学期に1回実施していた取り組みを今年度から毎月1回に増やし、「ふるさとあか牛デー」と銘打って、毎月異なる献立であか牛を提供しています。また、「ふるさとくまさんデー」では、県内の特産物や郷土料理が並びます。これらの取り組みで、子供たちには「食」を通してふるさとの自然や食文化、産業に触れてもら

い、生きる力と豊かな人間性、感謝の心を育ててほしいと考えています。



5月に提供されたあか牛そばろ丼

Q 他に村ではどのような子育て支援政策が行われていますか?

A 近年の温暖化に対応するため、早急に取り組んでいるのは小中学校の全体育館への空調設備設置です。夏本番を迎える前の6月中旬までに、22台の設置を計画し、年間を通して子供たちが快適に過ごせる学校環境を目指します。

また、昨年度から始めた修学旅行費の半額補助も継続します。今後も社会情勢や環境を鑑みながら、保護者の負担を軽減するためにできることは積極的に取り組みます。

Q 保育園の施策を教えてください。

A 課題となっていた0歳児の受け入れは、今年度の保育士の増員により、現在3園とも待機児童は解消していますが、昨年8月に起きた重大事故を受けて、今一度安全な保育環境と体制づくりを整えます。そのためには、保護者の協力や保育士の働き方の見直しが必要です。そして、村内3園の現状を把握し、今後の公立保育園のあり方を協議するため、5月に「第1回 南阿蘇村公立保育園のあり方検討委員会」の会議を開催しました。8月中に答申を取りまとめ、半年以内には現場に反映できるよう、前向きに進めます。

また現在、土曜保育も3園で実施していますが、今後の運営を慎重に検討しています。子供たちが家庭で過ごす時間を増やす観点と必要な人へ必要なサービスを提供できる環境整備の両立に取り組みしますので、ご理解をお願いします。

Q 最後に、村民の皆さんへメッセージをお願いします。

A 引き続き、村は子育て支援

に力を入れますが、子育ての原点は家庭にあり、保護者の愛情と協力が欠かせません。また、村では村内雇用の創出に力を入れていきます。村外への通勤時間が短縮できれば、子供たちと過ごす時間が増やせます。併せて、育休や時短制度の利用を促進し、子供の成長をしっかりと見守れる社会環境づくりを推進します。

そして「療育」は現在、保護者が送迎に時間を割いている負担や、支援を受けることへの心理的なハードルを解消していくことが重要です。今後は、現在行っている保育園への専門家巡回をさらに一歩進め、子供たちが「いつもの場所」で、より日常的に専門的な支援を受けられるような体制の構築を目指します。保育と療育がより深く溶け合うことで、全ての子供たちの個性に寄り添った細やかなサポートができるよう検討します。

未来の村を創り、中心となっていくのは子供たちです。未来の担い手を育てることなくして、持続可能な村づくりは有り得ません。私はこれからも「村づくりは人づくり」の信念で、教育環境の充実と子育て支援に全力で取り組みます。